

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 6 7	日々の生活において、「利用者 対 利用者」、「利用者 対 スタッフ」の個々の関わりのみに注力することなく、周りの利用者に与える影響まで視野に入れた支援をする。	常に身体拘束、虐待等に対する問題意識を持ち、対応や関わりが不適切ではないか立ち止まる。	個人個人が、会社の理念を理解し、自身の言動に対して、周囲から見て感じた事などの意見を聞ける関係性を築く。	12ヶ月
2	23 36 16	利用者間の関係性、職員との関係性。	互いに一人の人間として尊重し合い、其々に「生活の中の当たり前」が存在すると理解する。 オブザーバーの支援。 チームとして取り組む。	利用者の思いを知るための関わり。個々では無く、全体へつなげる為の関わり。 個々に合わせた言葉の選び方、思いの汲み取りの重要性を話し合う。 利用者自身から「出来る」「やれる」「やりたい」「やってみる」の言葉が自発的に出るように働きかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。